

「運用のほん 2017春」について、以下の車庫の文章についてレイアウト誤りがありましたので以下の通り修正いたします。

青戸支所

新車とハイブリッドの転入が多く、中型ロングはかなり少数派となった。系統によって大型・中型系が分かれているのは変わらないが、[AL01][上23][上26][平28]といった中型系のうち、[上23]は大型がコンスタントに入るようになった。特にH代幕車は[上23]に入りやすくなっている。[AL01][平28]もいずれかの幕車が入ることはさほど珍しくなくなっている。なお、HR・JP・MKに運用差はない模様。

ハイブリッド車はいずれも[錦37]に押し込まれており、次いで[草39]に入る機会が多い。ただしエルガハイブリッドだけは[草39]にほとんど入らず、代わりに[上23]に入っている。特性が違うということだろうか。[錦37][草39]は中型がレアで、渋滞・混雑時の突発で走る程度だ。

それ以外の一般大型車は[錦37][草39]が中心だが、A・L～N・R代がやや[草39]が多めで、B・H代は[錦37]が多めと傾向が分かれている。同じ代・車種であれば傾向は原則同じで、キャプテン翼の葛飾区ラッピングとなるR607も、他のR代と同じく葛飾区に関係ない[上23]にも入るようになっていく。

臨海支所

系統群ごとに配車傾向が異なる。K代中型ロングとCNGの大量除籍で大型車とハイブリッドの比率が増えたので、昨年とはかなり傾向が変わっている。最近交換で転入したエルガハイブリッドは[船28]がやや多く、それ以外では[臨海28][亀26][葛西24]、土休日は[急行06]にも入る。深川時代よりかなり活躍の幅が広がっていると言える。

系統別の結果を以下に示す。なお、[錦22][臨海22][臨海28]は他系統の出入庫に使われる割合が高いため、系統固有の特徴ではないことに注意。

まず、中型ロングほぼ限定となるのが[新小20][葛西22][新小29]。これらの系統に中型ロング以外が入ることはかなりレアだ。細かく見ると、JPが優位な[葛西22]とそれ以外に分かれるが、JPの方が道路が狭い[葛西22]には合っているのだろうか。特にK555, 556は[葛西22]の主と言える。[平23]はハイブリッドが交ざるようになり、中型ロング率は80%程度に落ちた。

次に、中型ロングが半数程度で、それ以外にCNG、僅かに大型ディーゼルが混ざるパターンとなる。[東20][草24][葛西24][臨海28]が該当する。[草24]は三菱CNGの数か少なくなり、その分ハイブリッドが穴埋めしているのも特徴。

3つ目は中型ロングが3分の1程度で、残りが大型車のパターン。[錦11][門21][船28]が該当する。[草24]は以前よりやや中型ロングの比率が上がって、逆に[錦11]は下がっているのが面白い。[船28]は前述の通り、残り大半をエルガハイブリッドが占める。

4つ目はほとんど中型ロングが入らない系統で、[亀26][急行06][秋26][西葛26][木11乙][両28]が該当する。[木11乙][西葛26]のようにM代CNGが専門で押し込まれている系統と、[亀26][秋26][両28]のようにディーゼル大型中心になった系統に分かれる。この3系統はB代が集中的に運用されており、三菱CNG中心の時代から完全に代替わりした印象がある。といっても、最古参CNGの生き残りのL116, 119も昔ながらの[秋26]運用が続いている。

一気に15輛に増えた日野ハイブリッドは大型系統にまんべんなく散らばっているが、最も比率が高いのは[門21]の41%となっている。以下、[錦11]の34%、[錦22]の30%、[急行06]の23%、[葛西24]の22%、[東20][両28]の21%と続く。[秋26][亀26]には入りづらいあたり、一軍の扱いではないということだろう。